

体育学部こどもスポーツ教育学科

【教員養成の目標】

体育学部こどもスポーツ教育学科は、「体育・スポーツの得意な小学校の先生になろう！」をスローガンに、「未来を拓くたくましい教員を育成する」という理念に基づき、高い専門性と優れた教育実践力を備えた小学校教員を養成することを主な目的としている。また、小学校教員としての得意分野並びに専門分野としての保健体育の学習を深め、豊かな知識を培い、創造的な探究の能力を養う観点から中学校及び高等学校の1種免許状（保健体育）の取得を可能とするカリキュラムを用意することで、こどもの成長発達を核に小学校から高等学校までを見通す力を有した教員の育成を可能としている。このことは、令和4年12月中央教育審議会答申に示された小学校高学年における教科担任制への対応と小中学校の円滑な接続を図る教員の育成とも一致している。これらを受け、以下の諸能力を有する教員の養成を目的とする。

1. 小学校の各教科等の高い専門性と幅広い実践力を身に付けた教員
2. 体育・スポーツを通じた学校づくりや地域づくりに貢献できる資質・能力をもつ教員
3. 身体だけでなく、心の教育に果たすスポーツの役割を重視し、こどもを対象としたスポーツ指導・人間形成面の指導ができる教員
4. 武道の精神を身に付けるとともにコミュニケーション能力に優れた豊かな人間性を有する教員
5. 小中学校における1人1台端末を活用したICT教育や外国語教育等の様々な教育課題に適切に対応できる教育実践力をもつ教員

【当該目標を達成するための計画】

上記の教員養成を実現するため、以下のとおり教育課程を編成する。専門教育においては、体育方法学のほか、学科独自の体育専門教育科目を全学年に配当し、小学校から高等学校までの体育を系統的に学び、運動やスポーツの専門性を高める。小学校各教科については、1年次から2年次に概論（専門的事項）を学ばせ、2年次から3年次春期までに小学校各教科等の指導法や教育課題に関する科目を配当し、学習指導案作成や模擬授業等を通して実践的指導力を身に付ける。模擬授業はもちろん普通の授業でも学習アプリや指導者用デジタル教材を活用し、ICT指導力を高める。教育基礎論、発達心理学、生徒指導論、教育方法論等の学科基礎教育科目は3年次までに配当し、教職に関する知見を深める。こうした教員としての基本的資質と教科等の指導力を身につけた上で、3年次秋期には小学校での教育実習を、また4年次春期には中学校または高等学校での教育実習を行い、学校現場体験をもとにした児童生徒理解力、教科指導力と教育課題への対応力を高めていく。